

教科	農業	科目	農業土木施工	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	森林工学
使用教科書	農業土木施工 文部科学省			使用副教材等	なし				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業土木事業における施工と管理に必要な資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業土木施工について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	農業土木施工に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業土木施工について自然環境や安全に配慮し、合理的な施工・管理ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動することができるか) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか、ノートへの記入はしっかりできているか)

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 実習では特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 ～ 7	<ul style="list-style-type: none"> ○授業オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを学ぶ 	(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度
		<ul style="list-style-type: none"> ○農業土木事業の役割 ・農業土木工事の意義について理解する ○農業土木材料 ・主な土木材料の性質や特徴について理解する ・工業標準化法の目的を知らせ、JIS及び諸機関の規格の必要性を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村の資源を整備し、環境保全をしていくために農業土木事業が重要な役割を担っていることを理解している(知) ・土木材料の諸性質を理解している(知) ・適切な土木材料を適所に使うことができる(知)(思) ・農業土木施工に関する法規について目的と概要を理解している(知) ・コンクリートの構成材料のセメント・骨材・水・混和材料について、その種類や品質を理解している(知) ・モルタルを材料から作ることができる(知)(思) ・周囲と協力し、最後まで粘り強く実習に取り組むことができる(態)
2	8 ～ 12	<ul style="list-style-type: none"> ○土工の種類 ・土工の種類を理解する ○土量の分配 ・土量の配分について理解する ○掘削と運搬 ・掘削と運搬の方法を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・土工作業は切り取り、運搬、盛土に区分されることとそれぞれの意味を理解している(知) ・土工の土工の計画について理解している(知) ・土量について理解し、ほぐし率や締固め率などを計算でもとめることができる(知)(思) ・土量計算表を読み取ることができる(思) ・作業現場の条件から適切な掘削方法、運搬方法を選ぶことができる(知)(思)
		<ul style="list-style-type: none"> ○盛土工 ・盛土の施工方法について理解する ○法面保護 ・法面保護工について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎地盤の処理方法を理解している(知) ・1層方、層状法や傾斜地の場合などの施工の方法を理解するとともに、作業現場の条件から適切な方法を選ぶことができる(知)(思) ・締固めの大きさを把握するとともに、締固めの基準について理解している(知) ・法面保護工の種類について理解している(知) ・工事の管理に関する課題を発見し解決策を考えることができる(思)(態)
3	1 ～ 3		